

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年6月18日(2009.6.18)

【公開番号】特開2007-296159(P2007-296159A)

【公開日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【年通号数】公開・登録公報2007-044

【出願番号】特願2006-127153(P2006-127153)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月30日(2009.4.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の遊技球が打ち込まれ、当該打ち込まれた複数の遊技球が流下可能な遊技領域と、前記遊技球の流下方向について最下流側に形成され、前記遊技領域に打ち込まれた遊技球を排出する排出口と、

前記排出口に向けて流下する遊技球の流下態様を不規則に変化させる流下態様変化手段と、

前記遊技領域を流下する複数の遊技球を対象として前記流下態様変化手段によって一球ずつ受け入れ可能な第一受入口と、

前記第一受入口よりも、前記遊技領域に打ち込まれた遊技球の受け入れ頻度が少ない第二受入口と、

所定の遊技態様を表示する第一の遊技態様表示手段と、

所定の遊技態様を表示する第二の遊技態様表示手段と、

所定の演出にかかる情報を表示する演出表示手段と、

遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が前記第一受入口に受け入れられたことを検出する第一受入検出手段、

前記第一受入検出手段による遊技球の検出に応じて抽選を行う第一抽選手段、

前記第一の遊技態様表示手段において所定の遊技態様で表示を行い、前記第一抽選手段による抽選結果を導出する第一の遊技態様表示制御手段、

前記第一抽選手段による抽選または／および抽選結果を、前記第一の遊技態様表示制御手段によって前記第一の遊技態様表示手段に導出することを保留する第一保留手段、

遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が前記第二受入口に受け入れられたことを検出する第二受入検出手段、

前記第二受入検出手段による遊技球の検出に応じて抽選を行う第二抽選手段、

前記第二の遊技態様表示手段において所定の遊技態様で表示を行い、前記第二抽選手段による抽選結果を導出する第二の遊技態様表示制御手段、

前記第二抽選手段による抽選または／および抽選結果を、前記第二の遊技態様表示制御手段によって前記第二の遊技態様表示手段に導出することを保留する第二保留手段、および

前記第一抽選手段または前記第二抽選手段による抽選において当選したことに応じて、

遊技者に所定の遊技価値が付与可能となる大当たり遊技を実行する大当たり遊技実行手段、を少なくとも有する遊技制御手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

少なくとも前記第二受入検出手段によって遊技球が検出されたことに応じて当該検出された遊技履歴を蓄積する遊技履歴蓄積手段、

少なくとも前記遊技履歴蓄積手段によって蓄積された遊技履歴を前記演出表示手段に表示する遊技履歴表示制御手段、並びに

前記第一の遊技態様表示制御手段によって前記第一の遊技態様表示手段に表示される遊技態様、および、前記第二の遊技態様表示制御手段によって前記第二の遊技態様表示手段に表示される遊技態様のいずれとも異なる遊技態様であって且つ演出にかかる特別演出遊技態様を、前記第一の遊技態様表示手段、前記第二の遊技態様表示手段または前記演出表示手段に表示する演出表示制御手段をさらに有しており、

前記演出表示制御手段は、前記遊技履歴蓄積手段によって前記所定の上限値まで遊技履歴が蓄積されたときに、前記特別演出遊技態様を表示するものであって、

前記遊技履歴蓄積手段は、前記第一抽選手段または前記第二抽選手段による抽選に当選して前記大当たり遊技実行手段によって大当たり遊技が実行されるとき、当該大当たり遊技が実行されるまでに蓄積した遊技履歴の数を0にすることなくそのまま記憶すると共に、当該大当たり遊技が終了したのち、記憶した遊技履歴から継続して遊技履歴の蓄積を行う

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記遊技領域を流下する遊技球が通過可能な通過口をさらに備えると共に、

前記第二受入口が、前記第一受入口よりも遊技球の受け入れが困難な第1の態様と前記第一受入口よりも遊技球の受け入れが容易な第2の態様とに切り替え可能な第二受入口であって、

前記遊技制御手段は、

遊技領域に向けて打ち込まれた遊技球が前記通過口を通過したことを検出する通過検出手段、

前記通過検出手段による遊技球の検出に依りて抽選を行う第三抽選手段、

前記第二受入口を、第1の態様と第2の態様とに切り替え可能な第二受入口態様切替実行手段、をさらに有しており、

前記第二受入口は、前記第三抽選手段による抽選において当選した場合にのみ前記第二受入口態様切替実行手段により第1の態様と第2の態様との間で切り替えられることによって、前記第一受入口よりも遊技球の受け入れ頻度が少なくなるように構成されている

ことを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記遊技制御手段は、

前記第二受入口について第1の態様から第2の態様への切り替え頻度を高めることによって前記第一受入口よりも前記第二受入口への受け入れが容易となるように前記第三抽選手段による抽選を行う有利遊技を実行可能な有利遊技実行手段、および

前記第二受入口について第1の態様から第2の態様への切り替え頻度を前記有利遊技が実行されている場合における切り替え頻度よりも低くすることによって、前記第一受入口よりも前記第二受入口への受け入れが困難となるように前記第三抽選手段による抽選を行う通常遊技を実行可能な通常遊技実行手段、をさらに有すると共に、

前記遊技履歴蓄積手段は、前記大当たり遊技が終了したのち、記憶した遊技履歴から継続して遊技履歴の蓄積を行うとき、当該大当たり遊技が終了し且つ通常遊技が実行される場合に、記憶した遊技履歴から継続して遊技履歴の蓄積を行う

ことを特徴とする請求項1または2に記載の遊技機。